

安心して健やかな暮らしづくり

まちづくりの目標

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、緊急通報システム機器の設置をはじめ、高齢者の生きがいや支え合い活動に取り組む老人クラブ、高齢者の就労機会を創出するシルバー人材センターの活動を支援します。

障害のある人や家族などからの就業や生活に関する相談などに対し必要な情報を提供するなど、障害のある人の地域における自立した生活を支援します。

多子世帯における4人目以降の児童生徒の給食費の助成をはじめ、児童手当や児童扶養手当の給付、ひとり親家庭等の医療費の助成を行うなど、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。

予防接種法に基づき、麻しん・風しん、ヒブや高齢者および小児の肺炎球菌、水痘などの定期予防接種を適切に実施し、感染症の予防に努めます。

伊万里有田共立病院を運営するとともに、休日・夜間急患医療センターをはじめ、在宅当番医制や病院群輪番制の円滑な運営に努めます。



市老人クラブ連合会主催の第1回レディスグラウンド・ゴルフ大会

●緊急通報システム運用事業 76万円

在宅の一人暮らし高齢者が家庭内で急病などの緊急事態に陥ったときなどに、専用の機器で簡単に通報ができ、必要な対応が受けられる環境を整備します。

財源 市76万円 ▼長寿社会課

●老人団体支援事業 316万円

市老人クラブ連合会と各町単位老人クラブの活動などに要する経費の一部を補助します。

財源 県60万円 市256万円 ▼長寿社会課

●重度障害者（児）医療給付事業 1億1508万円

心身に重度の障害がある人に対し、医療費の一部を給付します。

財源 県5754万円 市5754万円 ▼福祉課

●障害者介護・訓練等給付事業 10億5947万円

障害者やその保護者が利用する障害福祉サービスの費用の一部を支給し、障害者の自立や社会参加を支援します。

財源 国5億2885万円 県2億6442万円 市2億6620万円 ▼福祉課



↑白い杖^{つえ}でまちを歩き、視覚障害に対する理解を深めました。

●身体障害者更生医療給付事業 8954万円

身体に障害がある人の障害部位の加療により、改善または機能維持が図られる場合（人工透析、心臓手術など）に医療費を給付します。

財源 国4467万円 県2234万円 市2253万円 ▼福祉課

●身体障害児育成医療給付事業 185万円

身体に障害がある18歳未満の児童に対し、原則として手術（内科的治療は除く）を受けるために必要な費用を給付します。

財源 国92万円 県46万円 市47万円 ▼福祉課

●生活困窮者自立支援事業 740万円

生活困窮者への相談窓口の設置や包括的相談支援を行うほか、住居確保給付金を支給します。

財源 国555万円 市185万円 ▼福祉課

●生活保護費支給事業

12億4272万円

生活困窮者が、最低限度の生活を送るために必要な費用を支給します。

財源 国9億3204万円 県2260万円 市2億8808万円

▼福祉課

●私立保育園整備促進事業【新】

3008万円

私立保育園の施設改修に要する費用の一部を助成します。

財源 県2589万円 市419万円

▼福祉課

●留守家庭児童クラブ管理運営事業

7874万円

就労などで昼間に保護者のいない家庭の小学校低学年の児童を預かる留守家庭児童クラブを管理・運営します。

財源 使用料2608万円 国1732万円 県1732万円 諸収入70万円 市1732万円

▼教育総務課

●多子世帯給食費助成事業

228万円

児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、小学生から18歳までに4人以上の子どもがいる世帯に対し、4人目以降の給食費の全額を助成します。

財源 市228万円

▼学校教育課

●ひとり親家庭等医療費助成事業

3095万円

母子・父子家庭の父母とその養育する児童や、父母のいない児童に対し、医療費の一部を助成します。

財源 県1547万円 市1548万円

▼福祉課

●子どもの医療費助成事業

1億2883万円

小学校就学前の子どもが通院・入院、小・中学生が入院した際に加え、7月診療分から、小・中学生が通院した際に必要な費用（保険診療分）の自己負担額の一部を助成します。

財源 県4677万円 繰入金



↑元気にこいのぼりを掲揚する たんばぼ保育園の園児たち

●子育て支援センター管理運営事業

432万円

子育て相談業務や多様化する保育需要に応じた一時預かり、休日保育などをを行う子育て支援センターを管理・運営します。

財源 使用料16万円 国119万円 県119万円 市178万円

▼福祉課

●子育て世代包括支援センター事業【新】

430万円

妊娠・出産・子育て期（妊娠から就学前まで）の切れ目のない支援を行うため、健康づくり課内に子育て世代包括支援センターを設置し、母子健康手帳の交付や保健相談などを行います。

財源 国143万円 県143万円 市144万円

▼健康づくり課

●予防接種事業

1億5970万円

感染症の発生を未然に防止するため、小児などへの各種予防接種と高齢者のインフルエンザ予防接種などを実施します。また、妊婦の風しんへの感染を予防し、安心して出産できるように成人用風しんの予防接種を実施します。

財源 県16万円 市1億5954万円

▼健康づくり課

●妊婦乳児健康診査事業

4884万円

乳児が心身ともに健やかに育つよう、また、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図ることで安心して出産ができる体制を確保するため、乳児および妊婦の健康診査を実施します。

財源 市4884万円

▼健康づくり課

●健康増進事業

3408万円

市民の健康を保持するため、各種健（検）診や健康相談、訪問健康指導などを実施します。

財源 国12万円 県146万円 繰入金79万円 諸収入591万円 市2580万円

▼健康づくり課

●伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金

1億9108万円

伊万里・有田地区医療福祉組合が行う伊万里有田共立病院事業の運営に要する経費を負担します。

財源 市1億9108万円

▼健康づくり課

●休日・夜間急患医療センター管理運営事業

1566万円

日曜・祝日の休日診療や、平日の夜間における小児診療を行う休日・夜間急患医療センターを管理・運営します。

財源 市1566万円

▼健康づくり課